

### 《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

#### ◆銀行の新規貸出金利、13年ぶり高水準 追加利上げ反映

・日銀が発表した2025年3月の貸出約定平均金利によると、国内銀行の新規貸し出しの平均金利は1.262%。11年10月以来、約13年ぶりの高水準。1年未満の短期の新規貸出金利を中心に伸びた。日銀による利上げ分を貸出金利に反映する動きが広がっている。短期の新規貸出金利は3月に1.054%と、約10年ぶりに1%台となった。

#### ◆大企業の雇用者10年で26%増、中小は高齢者頼み 賃上げ・働き方で差

・大企業への人材シフトが進んでいる。業績改善を背景に大企業は雇用者数が10年前から26%増えた。中小企業は若い世代の採用が難しく、高齢者への依存を強める。今後は労働力減少が見込まれ、人材争奪は激化する。中小企業は賃上げや柔軟な働き方の導入を急がなければ人手不足を解消できない。

#### ◆M&A「のれん」償却不要 政府の規制改革会議、企業の新陳代謝促す

・企業がM&A(合併・買収)する際、「のれん」の償却を定期的にしなない会計処理を認める制度変更の動きが出てきた。会計上の負担を軽くしてスタートアップなどのM&Aによる成長を後押しし、企業の新陳代謝を進める効果が期待できる。政府の規制改革推進会議が月内にもまとめる答申に盛り込む。

### 《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

#### ◆TOTOが特損150億円、中国の拠点閉鎖 業績予想には反映済み

・TOTOは2026年3月期に約150億円の特別損失を計上すると発表。中国の衛生陶器の製造2拠点を閉鎖することに伴う構造改革費用になる。新工場を含む2拠点体制に移行し、稼働率や生産性を向上することで中国事業の営業損益は27年3月期に70億円の黒字(前期は36億円の赤字)に改善する見込み。

#### ◆上場企業、25年3月期は4年連続最高益 銀行や電機など7割の業種が改善

・国内上場企業の2025年3月期の純利益が4期連続で過去最高を更新。全36業種のうち約7割の26業種で損益が改善した。金融や海運など非製造業がけん引し、製造業の低迷を補った。四半期で見ると、1～3月期は6四半期ぶりの減益に転じた。26年3月期通期は減益予想になっており、企業は米関税や円安一服の影響を警戒している。

#### ◆生コンクリートが最高値更新 東京で14%高、取引慣行見直しも

・マンションなどに使う建設資材である生コンクリートの東京地区の取引価格が約14%上昇し、最高値を更新した。セメントなどの原材料価格や人件費の上昇を背景に生コンメーカーが求めていた値上げを、ゼネコン側が受け入れた。生コン取引慣行の見直しも進んだ。建設市場のコストが押し上げられる。

### 《 注目商品 》

#### ■パーパス、エコジョーズがフルモデルチェンジ「GX-HFL241/201/161シリーズ」

・「FLashシリーズ」のふろ給湯器をフルモデルチェンジ。独自の出湯制御により「最小給湯能力0.3号」「最低作動流量毎分1.5リットル」を実現。他栓との同時使用や、節水カーンや美容系のシャワーヘッドなど少ない湯量で使用しても温度がぶれない。本体色はフラッシュゴールドのメタリックを継承。



#### ■ダイケン、木造住宅用の後付けひさし

・木造住宅の玄関や窓、勝手口などの上部に最適なアルミ庇(ひさし)。木造建築物の外壁を仕上げた後でもコーチスクリューで施工することにより、後付け設置が可能。ただし取付下地材(別途)が必要で、取付け可能な外壁は窯業系サイディング(横張り)のみ。



#### ■米・マキシオン住宅用太陽光パネル、高出力・40年保証

・米・マキシオン日本総代理店のM-IBCは住宅用太陽光パネルの最上級グレード「マキシオンシリーズ」から新製品「SPR-MAX3-430-R」を発売。マキシオンシリーズは、IBC(バックコンタクト)セル技術により、高い変換効率と耐久性を備える。ワンサイズ大きくすることで430Wの高出力を実現。

